

# つがる市

## かめがおかせっきじだいいせき 亀ヶ岡石器時代遺跡

国指定史跡

指定年月日 昭和 19 年 6 月 26 日

岩木川左岸に立地する縄文時代晩期（紀元前 1,000 年～400 年頃）の代表的な遺跡。

江戸時代から優れた土器が多数出土することで知られ、「亀ヶ岡文化」の名称の由来になった。亀山、沢根及び近江野沢の3地区からなり、土坑墓群、漆塗り製品、ヒスイ製の玉類や、大型の遮光器土偶などが発見された。



出典：JOMON ARCHIVES（つがる市教育委員会撮影）



出典：JOMON ARCHIVES（つがる市教育委員会所蔵）



出典：JOMON ARCHIVES（青森県立郷土館所蔵、田中義道撮影）



出典：JOMON ARCHIVES（つがる市教育委員会撮影）

## たごやのかいづか 田小屋野貝塚

国指定史跡

指定年月日 昭和 19 年 6 月 26 日

岩木川左岸に立地する日本海側では数少ない縄文時代前期の貝塚を伴う集落遺跡（紀元前 4,000 年～2,000 年頃）で、クジラなどの大型哺乳類の骨で作った骨角器や人骨が発見された。ベンケイガイの貝輪が多数出土したことから、貝輪の製作が行われていたことが明らかになり、環境や生業、日常生活を知るうえで重要である。

出典：JOMON ARCHIVES（つがる市教育委員会撮影）